

スマート生産システムの推進に向けた論点整理

スマート生産システムの円滑な推進に向けて、協議会等での構成員の皆様からのご意見等の論点を整理し、事務局案を作成してみましたので議論の参考に願います。

◆ 平成28年度アクションプランでの各省ヒアリングや重要課題専門調査会での論点

- ✓ 府省連携が不十分（A P 登録がS I P 施策のみ）
- ✓ 関連府省との連携は必須

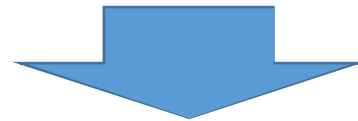
例）経営支援等のシステムの活用に向けた標準化での連携

経営規模の拡大に向けた環境面での施策連携

- ✓ I C T からの発想や中山間地への対応等スマート生産の新たな構造に向けた検証の可能性

- ◆ 事前に頂いた構成員からのコメント(要約) システム全体を機能させるための作業手順やルール、情報等の標準化の検討
 - ✓ T P P 対策を事例とした新たな研究開発テーマや対象分野（畜産）の検討
 - ✓ 輸出対策について、オールジャパンでのマーケティング戦略や専門家による海外ニーズの市場調査等が必要

[※コメント全般については、別表参照]



『スマート生産システムの具体的な進め方及び検討のポイント』（事務局案）

- 府省連携が必要な S I P 施策を補完する技術の検討
 - ex. T P P 対策としての新たな研究・技術開発テーマ
- 個別の要素技術（サブシステム）を繋ぐシステム化の検討
 - ex. 社会実装に向けた安全性等の施策やルール作り、情報の標準化
- 他のシステムとの連携の可能性
 - ex. 自動走行システムとの基礎技術の共有